

委 託 業 務 一 般 仕 様 書

1 適用範囲

この仕様書は、岡山市水道局の発注する本委託業務に適用する。

2 監督員

発注者は、監督員を定め、業務の施行について受注者又は次項に基づく現場責任者を指示、又は監督するものとする。

3 現場責任者及び主任技術者

- (1) 受注者は、委託業務の施行について現場責任者を定め、その氏名等必要な事項を発注者に通知しなければならない。現場責任者を変更したときも同様とする。
- (2) 委託業務の施行上発注者が必要と認めた場合には、受注者は技術上の管理を行う主任技術者を定め、その氏名等必要な事項を発注者に通知しなければならない。主任技術者を変更したときも同様とする。
- (3) 現場責任者と主任技術者は、兼務できるものとする。

4 提出書類

- (1) 受注者は、特記仕様書、契約書等に定める関係書類を指定期日までに提出するものとする。
- (2) 提出した書類の内容に変更が生じたときは、直ちに変更届を提出するものとする。

5 打合せ等

- (1) 現場責任者及び主任技術者（以下、「現場責任者等」という。）は、業務の施行に関し、事前に監督員と連絡をとり、主要な打合せには必ず出席するものとする。
- (2) 現場責任者等は、監督員と協議又は決定した事項について、後日疑義が生じないように記録を整備し監督員の確認を得るものとする。

6 資料等の貸与及び返還

- (1) 発注者は、業務の施行に必要とされる、図面及びその他関係資料等を受注者に貸与するものとする。
- (2) 受注者は、貸与された図面及びその他関係資料等について借用記録簿を備え管理に留意すると共に、業務完了後は速やかに返還するものとする。

7 業務の施行

- (1) 受注者は、監督員と協議、決定した作業は、正確かつ丁寧に行うものとする。
- (2) 受注者は、契約締結後、速やかに現地調査を実施し、地形的条件、既設構造物、他工事等の施工計画との関連を考慮して、業務を施行するものとする。
- (3) 現場責任者等は、作業の重要な段階においては、監督員の指示又は決定を受けて、次の作業を進めるものとする。
- (4) 受注者は、住民、通行者、その他に迷惑のないよう業務を施行すると共に、家屋、立木、その他の工作物及び地下埋設物等に支障を与えないように細心の注意を払うものとする。

8 現場の衛生管理

- (1) 業務に従事する者は、水道事業の公益性に留意して、衛生管理に努めること。
- (2) 水道施設で、直接浄水に触れる作業をする者、現場で一月以上連続して作業に従事する者は、「水道法第 21 条」（昭和 32 年 6 月 15 日法律第 177 号）「水道法施行規則第 16 条」に従い、保健所等の検査機関を有する機関の発行した健康診断書を 6 ヶ月毎に提出すること。なお、検査項目は赤痢菌、サルモネラ菌、パラチフス、腸チフス、腸管出血性大腸菌類（0-157、0-26）とする。

9 法令等の遵守

- (1) 業務の施行に当り受注者は、当該業務に関する法令、条例、規則などを遵守すること。
- (2) 関係法令の運用適用は受注者の負担と責任において行うものとする。

10 土地の立入等

- (1) 業務を施行するために国有、公有又は私有地に立入る場合は、使用者又は所有者等の承諾を得るものとする。
- (2) 関係法令に規定する身分証明書を常に携帯し、関係者から請求があったときは、これを提示しなければならない。

11 契約の変更

契約を変更するときは、変更契約書を作成の上、発注者受注者双方記名押印しなければならない。ただし、契約変更の内容が軽微なもので、その必要がないと認めるものについては、この限りでない。

12 委託の完了

- (1) 受注者は、委託が完了したときは、完了報告書等の書面をもって、委託業務の履行状況を速やかに発注者に報告しなければならない。
- (2) 発注者は、前号の規定による報告を受けたときは、監督員に委託の完了を確認させ、速やかに検査の手続をとるものとする。

13 検査

- (1) 発注者は、受注者から提出された報告書等について、検査を行わなければならない。
- (2) 受注者は、受注者又は現場責任者（以下、「受注者等」という。）の立会いの上、検査を受けるものとする。ただし、受注者等の立会いが得られないときは、受注者等の立会いなしで検査を行うことができるものとする。
- (3) 検査に要した費用は、契約に特別の定めのある場合のほか、すべて受注者の負担とする。修補、原状回復又は検査のための変質、変形、消耗若しくはき損の修繕等に要する費用についても同様とする。

14 修補

受注者は、検査に合格しなかったときは、指定期間内にこれを修補しなければならない。

15 秘密の保持

受注者は、発注者が貸与する図面その他関係資料及び当該業務によって知り得た一切の事項を他に漏らしてはならない。

16 損害負担

業務の履行に関して生じた損害は、発注者の責めに帰する場合を除き、すべて受注者が負担しなければならない。

17 補則

定めのない事項については、必要に応じて発注者、受注者協議して定めるものとする。

旭東浄水場構内ほか環境整備業務仕様書

1 業務範囲

本環境整備業務は、契約書に記載された事項および仕様書によるもののほか、受注者はその権限による責任と判断により誠実に実施するものとする。業務範囲は旭東浄水場構内、資材事務所の2ヶ所とする。

2 作業内容

- 1) 本作業は、極端に伸びた徒長枝の切り直し、タチ枝、サカサ枝、ヤゴなどの剪定とし、樹木の形を整えること。なお、枝の伸張により道路の見通し(信号機、道路標識など)や通行の障害となる場合は、必要最小限の剪定を行うこと。
- 2) 高所の剪定作業については、特に注意して危険のないよう行うこと。
- 3) 作業の実施にあたっては、旭東浄水場構内及び資材事務所への来訪者及び本市職員の障害にならないよう、十分に安全管理を行うこと。なおヘルメット等の安全用具を必ず着用すること。
- 4) 剪定くずは、一般廃棄物処分場もしくは本市焼却場において、適切に処分すること。
- 5) その他詳細については、監督員の指示による。

3 作業実施日及び時間

作業実施日については、事前に監督員と協議のうえ決定するものとする。作業時間は本市の規定によるが、監督員が必要と認めたときはこの限りでない。

4 提出書類

受注者は、次の関係書類を監督員に提出しなければならない。

1) 作業日報

作業を行ったときその都度提出し、監督員の承認を得るものとする。

2) 作業写真

すべてカラーサービス版で写真帳に貼付し、作業内容を記入したものとする。提出部数は写真帳1部とする。

撮影は次のもの及び監督員が特に指示するものとする。

- a 作業着手前の状況
- b 作業中の状況
- c 作業完了後の状況

5 衛生上の措置

本作業は、浄水場内で実施されるものであり、特に注意して汚染の原因となるようなものを除去し、清潔に作業しなければならない。

6 検査

作業数量の認定は、作業完了後速やかに監督員が行うものとし、この時点をもって引渡しを受けるものとする。確認検査については、検査員が提出書類の検収を行うものとする。